志望理由・LINE

日本最大級のアクティブユーザーのサービスでも運用や開発に対して保守的にならず、OpenChatなど新しい機能を積極的に開発し、LINE証券では、既存の金融企業で使われるような技術を使うのではなく、モダンな技術を使っているなど企業として挑戦的な姿勢が感じられます。企業として感じられるということは、社内のエンジニアの方々も挑戦的な人が当然多いと思います。そのような環境の中へ入り、挑戦しつづけるエンジニアになるため志望しました。

ご自身のスキルや技術力の実績（学業・研究・インターンシップ・アルバイトなど）について、アピールできることがあれば記載してください。 Githubやブログなどございましたら併せてご記入ください。（複数記載可）

学業

大学の講義で使用したゲームボーイアドバンスのエミュレータで動作するオセロを作成しました．どちらのプレイヤーの番なのか，視覚的にわかるように先攻は赤，後攻は青のカーソルで移動し，石を打ってもらいます，打てない場所に打つと，カーソルの色が黄色になって打てない仕様になっています．石を打った後，盤面にあるそれぞれの石の数を数えて表示をしています．勝敗が決まると，WINとLOSEが出るようになっています．オセロのアルゴリズムについては，ネットにあるものを参考にしました．盤面の各セルの状態は０，１，２の数値情報として配列で管理し，数値情報によって，描画するセルを決定しています．使用言語はC言語です．

自分で作った制作物

使用言語：Go言語，Vue.js，Heroku(クラウド)

概要：模試などで提供される，自分の点数，偏差値，平均点を入力して，設定した偏差値を取るためには何点取ればよいのかと，設定した点数に対応した偏差値を表示してくれるWebアプリを作成しました． 作成した背景は，僕が塾でアルバイトとして働いている中で，偏差値についての質問も多く，教室長も懇談で偏差値のことで生徒の親から話しがあがるということを聞いていたので，それなら，点数や偏差値がわかるようなものがあれば便利だと感じたのが始まりです．今後，都道府県を選択すると表示された偏差値の高校名，コース，URLを表示する機能を実装します．

URL http://deviation-value.herokuapp.com/

使用言語：Python，ラズパイ（ハードウェア）

概要：ICカードをかざすことで，自宅の扉の鍵を自動で解錠し，扉を閉めると自動で施錠してくれる工作物を作りました．鍵穴へ差し込むことへの煩わしさと，鍵が無かった時の絶望感という問題を駅の改札のICでの通行の便利さで解決しようとしたのが背景です．プログラムの流れについて，扉に取り付けられた非接触ICカードリーダーにICカードをかざすと，各カードに割り振られているIDを読み取り，登録されているIDであれば，鍵が解錠されます．鍵が解錠されると超音波センサが開く扉と壁までの距離を計測し，閾値以下になると，扉が閉まっていると判断し，鍵を施錠します．

その他

使用言語：Go言語

概要：Webスクレイピングで都道府県別に高校名，コース，偏差値，ホームページのURLをスクレイピングして csv ファイルへ書き込みを行うプログラムや、書き込みをしたcsvファイルの情報をPostgreSQLへ挿入するプログラムなど作成しました．

使用言語：Python

概要：所属している研究室の教授が担当している講義の出席管理のプログラムを作りました． 具体的な背景や内容について 講義では，出席と講義中で出される課題が書く欄のある紙が配布され，研究室の学生がそれを手作業で出席情報をエクセルに入力しています．それを自動化しました．プログラムの内容については，まず，学籍番号をマークシート形式で記入する欄をOpenCVのテンプレートマッチングを用いて摘出し，マークされている箇所もテンプレートマッチングで読み取り距離情報からマークされている番号を読み取りました．最後に，csvファイルへ読み取った番号と出席，遅刻の情報を書き組むようにしました．遅刻については配られる紙には番号が振られており，その番号を文字認識で読み取り，その情報をもとに遅刻かどうかを判断しました．

インターンシップ

楽天

行った業務内容が社内の関わる物が多く、メンターさんに相談したところ、話す内容は概要程度にとどめてほしいとのことなので、詳細は書くことができません。

行った業務内容の概要は以下のとおりです。

CI/CDシステムの構築

本番環境のバグ修正

依存関係の可視化ツールの改良

現在もアルバイトとして働かせてもらっています．

アルバイトでの業務内容は社内ドキュメントを作成するプログラムを書いています。

AWS

落とし物を管理するアプリケーションを開発しました

内容は，消しゴムや鉛筆などの落とし物を写真撮影して，その画像をweb上からサーバへアップロードします

その後，画像は画像認識によってラベル付けされます

落としたものを探している人は，検索画面から落としたものの情報を入力することで，入力情報と同じラベルの付いた画像を表示して探しものを探すアプリケーションです

LINE

LINEがSDKとして提供している，LINE内で動作するウェブアプリのプラットフォームです

これを用いて，LINEのトーク内から遊ぶことができるアプリケーションを開発しました

思い浮かべたポケモンのタイプや大きさ色などを答えていくことで，ポケモンを特定する流れになっています

ポケモンを特定すると，特定したポケモンの画像が表示され，声も聞こえる仕様です．

GitHub:

https://github.com/shinnosuke-K

LINEに入社してやってみたいことと、その理由を教えてください。

関わってみたいものが2つあります。

1つ目はLINE証券のサービスに携わりたいです。

理由は、LINEで開発しているLINE証券は、既存の証券サービスで使用されているような技術でなく、モダンな技術を使って開発を行っているという話を聞いて、チャレンジングな姿勢を感じたのと戦略事業の一つとして掲げ取り組んでいるので、その領域に参加して、LINEに続く新たな企業の柱になるようなものを作りたいと考えているからです。

2つ目はLINEアプリの開発に携わってみたいです。

LINEアプリは日本でも最大のアクティブユーザーを誇るアプリだと思います。なので、技術に関しても他社では経験できないようなデータ量や課題などがあると思います。そのような環境に関わり、課題を解決し、新たなものを開発することでエンジニアとして成長できると思っているからです。